書店、出版のイベント「イチョウ並木の本まつり」を開催

瀬戸内ブッククルーズ実行委員会

活動の目的

岡山、瀬戸内の出版文化の啓蒙と普及を目的とし、書店や出版関係者による本のイベントを行う。

活動の内容及び経過

2019年10月に「イチョウ並木の本まつり」を開催した。2020年3月に「小さな春の本まつり」「小さな春の本だんぎ」の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念により中止になった。

会場は、大学内の地域に開かれた施設として寄贈されたJテラスカフェ。

岡山を中心に、県外からも含め、書店、古書店、作家、出版社、図書館などが出店し、本の販売や展示、本に関わる雑貨、食品などを提供した。

本にまつわるワークショップ、ブックトーク、読み聞かせなども行い、ブックレット「本楽3（本屋に行くと楽しいことがある）」を発行した。

活動の成果・効果

「瀬戸内ブッククルーズ」は、本との出会いの場所して本屋（古書店・新刊書店・セレクト書店）や図書館を、改めて位置付けたいと考え、各イベントを計画している。出版の世界が縮小しているなか、垣根を超えて、本に関わるいろんな業種の方々に参加してもらい、読者（これからの読者も含む）に、インターネットでは味わえない、本の体験を提供することを目的としている。

秋に開催した「イチョウ並木の本まつり」では、作家、出版社、編集者、新刊書店、古書店、セレクト書店、大学図書館、市立図書館に参加を依頼し、それぞれのブースで、本を媒体にしたコミュニケーションをとってもらうようにした。子供から大人まで楽しめる「ブックカバーを作るワークショップ」や、実際の本づくりの話や、それぞれの店主によるオススメ本のブックトーク。関西や四国などからも作家、編集者に来ていただき、普段は聞くことのできない「本作りの話」を聞いた。大学図書館からは、貴重な「除籍本の提供」を行っていただき、市立図書館には、これから本を楽しむようになる子供たちに「読みきかせ」の場を作った。

文豪が愛したコーヒーやお菓子、食べ物などを再現した「文豪珈琲」も開催し、いにしえの文学作品にも親しみを持ってもらう機会を提供した。

地球温暖化などから関心の深まっているSDG'sも今回のテーマとし、マイバッグやエコバッグの推進、関連本のコーナーも作り、啓蒙活動の一環とした。

春に岡山市との共催で開催を予定していた「小さな春の本めぐり」は、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から、直前まで準備をしていたが中止となった。

中止になった「小さな春の本めぐり」では、昨年より始めた一箱古本市（一般の方が1日限定で古書店主になって一箱の本を販売する企画）を予定していたが、店主となる一般参加者や、来場を楽しみにしていた方々から、中止を残念に思う旨の連絡を多くいただき、また店主同士、参加者との交流も生まれており、4年にわたる瀬戸内ブッククルーズが本を媒介にして多くの出会いを提供できたと思っている。

今後の課題と問題点

「瀬戸内ブッククルーズ」も回を重ね4年を経過したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止や延期をせざるをえない状況になっている。

本を購入する際も店舗に出かけて購入するのではなく、amazonなどのインターネット通販の大手書店などで検索して購入することが、多くなり、推奨さえされている。

インターネットでの検索は、自分が興味のある事象については迅速かつ手軽に結果を得ることができるが、得られる結果は関心のある物事に限られてしまい、かえって視野を狭めてしまっているように見える。

それは、偏見や不寛容、差別、責任の放棄や、他者への攻撃へと繋がっていく。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、今まででは聞くことのなかった言葉も現れてきた。「クラスター」「オーバーシュート」「ソーシャルディスタンス」等々。インターネットを検索すると、それらの意味は簡単に出てくる。ただし、そこに現れる意味は、正しいものではない。

「クラスター」は「小規模な集団感染」とされるが、文脈の中では正しくない。なぜ「集団感染」とすればいいものを「クラスター」と表現するのか。その意図が最も重要であるはずにも関わらず、言葉の検索でその理由が示されることはない。

本を読むとはどういうことなのか。それは、自分にとって都合の良い情報を得るものではない。今まで出会ったことのない世界、歴史、人生、価値観や、意味に出会う場所であり、単語ではなく、文脈にこそ価値があることを理解することだとも言える。

何千年もの歴史を持つ書物は、現代の我々にとっても不可欠なもの。その出会いの場所は、インターネットでは、まだまだ不十分た。

何よりも、実際に店を訪れ、本を手に取り、コミュニケーションをとりながら本を選ぶことは、楽しみでもあり、生きる意味を与えてくれるものだ。

多様な出版文化をこれからも育んでいくことを、継続しなくてはならない。

●代表者：根木慶太郎　●所在地：玉野市八浜町見石
●TEL：0863-51-2920　●E-MAIL：neki@451books.com
●URL：https://setouchi-bookcruise.net/
●設立年：2016年　●メンバー数：4名